

京都府立大学・ラバル大学交流セミナー



カナダ、ラバル大学のアンドレ教授をお招きし、2月16日にセミナーが開催されました。

アンドレ教授は、森林科学科からラバル大学に留学された川口敏典氏の指導教官であった方で、動物学・動物生態学が専門であり、主に鳥を研究されています。

セミナーでは、アンドレ教授の研究内容の講演と、ラバル大学との交換留学プログラムに向けたラバル大学の紹介をして頂きました。



アンドレ教授による講演の様子

16日の午前中には、アンドレ教授と学生で植物園を散策しました。頼りないガイドではありませんでしたが、楽しんで頂けたようでほっと一安心です。

散策では、鳥に出会うと足をとめ、アンドレ教授はその場所と鳥の種類を記録。これまであまり気に留めたことのなかった“鳥”がメインの植物園散策でとても新鮮でした。アンドレ教授は、鳥以外にも、梅や盆栽、竹など、日本ならではの展示や植物にも興味を示されていました。



植物園散策の様子



セミナー前はみんなでお昼ごはん



植物園散策の様子